



2022年1月11日

各位

会社名 株式会社イズミ
 代表者名 代表取締役社長 山西 泰明
 (コード: 8273、東証第一部)
 問合せ先 取締役経営企画部長 町田 繁樹
 (TEL. 082-264-3211)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年4月13日に公表した2022年2月期(2021年3月1日～2022年2月28日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 2022年2月期の連結業績予想数値の修正(2021年3月1日～2022年2月28日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	721,400	36,700	36,800	23,500	327.95
今回修正予想(B)	679,100	34,800	34,600	22,300	311.81
増減額(B-A)	△42,300	△1,900	△2,200	△1,200	—
増減率(%)	△5.9	△5.2	△6.0	△5.1	—
(参考)前期実績 (2021年2月期)	679,778	35,781	36,078	23,053	321.72

2. 2022年2月期の個別業績予想数値の修正(2021年3月1日～2022年2月28日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	674,000	30,100	30,200	19,400	270.73
今回修正予想(B)	635,100	28,300	28,400	18,400	257.28
増減額(B-A)	△38,900	△1,800	△1,800	△1,000	—
増減率(%)	△5.8	△6.0	△6.0	△5.2	—
(参考)前期実績 (2021年2月期)	634,583	29,128	29,420	17,461	243.67

3. 修正の理由

第3四半期累計期間においては、昨年からの新型コロナウイルス感染症の影響が一巡し、消費環境には一時回復傾向が見られたものの、再び断続的な感染拡大に伴う緊急事態宣言等の発令、変異株ウイルスの流行など、社会・経済活動の本格的回復には至らず、先行き不透明な状況が継続しております。また、夏場の記録的な大雨・長雨・低気温などの天候不順なども加わり消費環境は低調に推移いたしました。ワクチン接種の進展とともに人出が回復するとの想定を好機と捉え、生活の正常化へ向けた需要への対応を図った一方、盆時期の帰省客の減少、記録的な天候不順も重なったことも相まって、特に大型商業施設への人出が大きく減少いたしました。秋口以降における緊急事態宣言の解除、気温低下にともなって一部に明るい兆しもあり本格回復への道筋を辿ってはいるものの、新たな変異株ウイルスの流行による行動制限や不要不急の外出抑制が再び懸念されるなど、収束時期は依然として見通しにくく、先行き不透明な状況は継続すると想定しております。

今般、第3四半期累計期間の業績動向を踏まえ、その他の現時点において入手可能な情報や予測等も勘案し、業績予想を修正することといたしました。

(注) なお、上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上